

## ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



## 東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム  
第 34 例会 2021.5.31 (#2308) オンライン

卓話「ポリオ根絶への道」

ポリオ根絶地域コーディネーター 松本祐二様(益田西 RC)  
紹介者 須藤仁会員

前回の報告  
第 33 例会 2021.5.24 (#2307)

オンライン例会

例会終了後、新旧合同クラブ協議会(各委員長対象)

### 会長報告

- 1) 梅雨入り間近の鬱陶しい毎日です。皆様の中にはワクチン接種はお済みでしょうか？ 早く多くの皆様に届くようになれば、多少安心して活動の範囲を広げられると思います。
- 2) 明日は日本ロータリー100周年祝賀会開催の予定でしたが、オンライン開催となりロータリアンは視聴可能になりました。せっかくの機会ですからどうぞアクセスして下さい。
- 3) 本日は卓話をごさいますので、連絡事項をお伝えして、例会は終了です。その後引き続き、新旧合同のクラブ協議会となります。今期・来期の各委員長は宜しくご参加下さい。

### 幹事報告

- 1) 会長のご挨拶にもありましたように、日本ロータリー100周年祝賀会にアクセスして下さい。
- 2) 例会終了後、クラブ協議会に移行しますので、新旧の委員長はお残り下さい。
- 3) 来期 7月8日の地区からのワークショップは、次年度の若林ガバナーの発案で開催される企画です。第1回目は入会3年以内の新しいロータリアン対象です。来期は若林ガバナーを全面的にバックアップするつもりで、各行事には全員ご参加下さい。
- 4)

## 5月31日のオンライン例会

Zoom ミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/8370195127?pwd=MUdnZTlnWjl2WVoyVmF2RWJ0VmdxUT09>

ミーティング ID: 837 019 5127

パスコード: 4mShHJ

**緊急事態宣言下では、Zoomによるオンライン例会となります。ご案内はその都度お出し致しますので、ご参加下さい。**

### 次回予告

第35回例会 2021.6.7

**オンライン例会**

## 農と交流による再生

福島農業女子代表 渡邊とみ子氏 (3/22 卓話)



福島市から飯舘村に嫁いで地域づくりに関わってから、飯舘村で暮らす事が好きになる。飯舘村の菅野元一氏が品種改良したオリジナルのかぼちゃ「いいたて雪っ娘」を世の中に広める為に研究会や加工施設「まじい工房美彩恋人」を立ち上げて頑張っていた中、2011年3月11日東日本大震災、そして原発事故

の災害で全村避難となった。福島市に避難をし、すぐに遊休農地や耕作放棄地を借りて栽培を開始したが、飯舘村の土とは違っていたので農機具もない中での栽培は本当に大変だった。

### 播かぬ種には芽が出ないし実もならない

どんなに過酷な条件でも芽を出してくれた「いいたて雪っ娘」を見た時は涙が出てしまった。あんなに小さな種が自分の一生を全うしようと必死に生きてる姿を見てあ〜！負けちゃいけないなあ。あきらめちゃいけないなあと自分に言い聞かせて手入れをしていた。

### 思いは連鎖して全国に広がる

「いいたて雪っ娘」のファンクラブが作られて年に何回も畑に足を運んで下さり一緒に作業をいていただく。それが連鎖して広がり、全国の生産者さんを訪ねたり、スタディツアーの受け入れや農作業体験の受け入れもした。

「いいたて雪っ娘」公式アンバサダーの方もプロの料理人を繋いでくださったり、作業も一緒にしたりと思いは広がっていった。イオンさんと連携して福島県内のお店にも冬至かぼちゃは「いいたて雪っ娘」が並ぶようになった事は風評被害払拭には助けていただいた。

### 未来に向けてこれからの活動

2017年3月31日で飯舘村は避難解除になった。何十年と営農再開は無理だろうと思っていたが、やらないでダメ、ダメではなくやってみてダメならその対策を考えよう！と思い、飯舘村の畑で栽培を開始した。飯舘村での営農再開には届け出が必要で、土の放射性物質や土の成分検査をし、施肥指導を受けて初めてできた。

4月1日から、畑の手入れをして種を播き、無事収穫できた「いいたて雪っ娘」は福島県の検査でも放射性物質の検出は問題なく出荷できた。勿論、種や種の皮からも検出されず、大事に油を搾ったり、パウダーにしたり無駄なく加工して商品化して販売している。

### 食と農の交流による再生

2018年12月24日に最愛の夫を亡くし、福島市と飯舘村の2地域居住で暮らすには飯舘村の家から収入をあげる

工夫をしないと破綻してしまう。何より、夫婦で夢見た農泊をいつか又この飯舘村の家でやりたい！と思うのである。更に、作業の副産物で作る料理やあぶくま食の遺産のメニューをお客様と一緒に作ることで交流が深まっている。

### この間の実践活動から

田舎の当たり前が都会の方々には宝。物づくりだけではなくストーリーを作る「ことづく

り」が必要と感じる。共感から和が生まれファンができる。最初は小さな和でもだんだん横に広がっていき、避難生活で辛かった事、苦しかった事、悔しかった事など心の傷も段々と癒され、又再び自立してやっていこうとなってきた。それでも帰村しての営農再開はいばらの道である。猿や猪、小動物との闘いは半端ない。

### 全ての答えは現場にある

何かをやろうとすれば困難にぶつかることもある。何もやらなければ何も残らないし、何の成長もない。とかくやらない人程、立派なやらない理由付けをする。しかし、播かない種には実もならない。あの時やらない理由をつけてやらなかったら今はない。未来を見て対策考えて生きてきた仲間達と共に歴史をつくる。かけてきた時間は誰にも取り戻せないの、これからも諦めないで、生きてる限り、歩みを止めないで前に進んでいこうと思っている。

#### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	須藤 仁	FAX:03-3263-9122
幹事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋 一晃	URL: www.koujimachi-rc.jp